



女学院だからこそ可能な 「ライフキャリア教育」始まる

広島女学院院長・学長 湊 晶子

最近、世界的にキャリアと言う言葉が使われていますが厳密な定義はなく、一般的に「就職や職業」を表す言葉として用いられています。私の就職、結婚、子育て時代は、育児・介護休業法も女性活躍推進法もなく子供を持って仕事をすると非難された時代でした。28歳で大学教師となり、仕事と家庭の両立に格闘した経験から、女性にとって出産・育児の期間は人生のロスタイムではなく、「育自」の時でもあり、次のステップへの蓄積の時であることに気付きました。女子教育に携わって56年。広島女学院こそライフキャリア教育を実現できる女子教育機関であると確信しております。

一 「キャリア」から「ライフキャリア」へ 私は自らの経験を踏まえてのキャリアを次のように定義したいと思います。「報酬が得られる職業についている時だけがキャリアではない。具体的に金銭化されない労働がある（主婦労働、ボランティア、文化形成活動、定年退職後の労働など）。各個人が全生涯にわたって形成した労働生活全体がキャリアである」と。特に女性にとっては多様な選択が可能で、生涯を視野に入れてそれぞれのライフキャリアを設計する必要があります。

二 「ライフキャリア教育」へ舵を切る 大学は2018年4月より、2学部5学科に再編し女性の一生涯を視野に入れたプログラムに再編を構想中です。即ち人間への理解を深める「人文学部」と女性の一生涯の支えとなる資格取得を支援する「人間生活学部」を充実させることによって、「学問」と「実践」の両方を学ぶことが出来る教育を行っていきます。私がこれまで関わって来た大学には本学が有するような実践的学部を並列的に有する体制はありませんでした。本学の特質を生かすことによって、時代のニーズに応える女子教育機関となり得ると確信しています。

ライフキャリア教育をより深化させるために、基礎科目の「キリスト教入門」を充実させ、その上に女性の一生涯を生かす「ライフキャリア科目」を設けます。女性史などの「自己との関係科目群」、暮らしを営む食と健康などの「他者との関係科目群」、ビジネス実務経験などの「社会との関係科目群」、「その他科目群」の4科目群を用意し、どの学部・学科に属しても自由に選択できるように工夫されています。例えば日本文学を学ぶ学生が食や健康について学び、児童教育を学ぶ学生が語学力を培うこともできます。人生の土台をしっかり築き、その上に各々の専門分野を積み上げるのです。

幼稚園、中学、高校のすべての機関と関わりつつ、女学院大学でしかないライフキャリア教育が可能になります。

三 一生涯をサポートするエンパワーメントセンターを 女性は大学を卒業するまでは男性と同じペースで学び行動できますが、社会に出てからは結婚、出産など様々な家庭環境の変化によって影響を受けます。女性のキャリア構築を生涯にわたってサポート出来る「エンパワーメントセンター」を大学内に充実させます。「一生涯を支える女学院」として国際社会と地域に貢献できる女性をサポートできればと願っています。



女性活躍推進セミナー(もみじ銀行主催)で講演する湊院長・学長

2017年度運営体制

(新任者は○印)

理事長 中川日出男
院長 湊 晶子
法人事務局長兼大学事務局長 ○本廣 賢吾
法人事務局次長兼総務課長 増田 茂伸

大学・大学院

学長 湊 晶子
副学長 桐木 建始
国際教養学部長 波多野五三
人間生活学部長 村上 和保
言語文化研究科長 渡邊ゆかり
人間生活学研究科長 村上 和保

図書館長 佐藤 茂樹
総合研究所長 佐藤 茂樹
チャプレン 澤村 雅史
障がい学生高等教育支援室長 山下 京子
総合学生支援センター長 山下 京子

共通教育部門長 山下 京子
入試部長 河内 清志
キャリアセンター長 桐木 建始

宗教主任 澤村 雅史
宗教主任 前田美和子

国際教養学部 国際教養学部主任 柚木 靖史
国際教養学学科副主任 関谷 弘毅

人間生活学部 生活デザイン・建築学学科主任 小野 育雄
管理栄養学学科主任 渡部 佳美

幼児教育心理学科主任 中村 勝美

保育士課程担当主任 加藤 美帆

初等教職課程担当主任 戸田 浩暢

中等教職課程担当主任 大橋 隆広

学芸員課程担当主任 福田 道宏

管理栄養士養成課程担当主任 ○妻木 陽子

食品衛生管理者・食品衛生監視員養成課程担当主任 渡部 佳美

社会教育主事課程担当主任 ○伊藤 千尋

司書課程・学校図書館司書教諭課程担当主任 佐藤 茂樹

日本語教員養成課程担当主任 渡邊ゆかり

建築士課程担当主任 細田みぎわ

実務教育課程担当主任 ○吉田 順子

中学校・高等学校

高等学校教頭 星野 晴夫
中学校教頭 渡辺 信一
教務部長 渡部 新
進路指導部長 高梨 弘
広報部長 中村 紀子
生徒支援部長 畑野 喜信
グローバル教育推進部長 吉田絵理子

学年主任 高見 知伸
中1 中野ひかり
中2 工藤 敬子
中3 山縣 泉

新任者紹介

新任者お名前

- ①所属・配属先
- ②職名(担当授業)
- ③就任にあたっての抱負

村上 智子

- ①人間生活学部幼児教育心理学科
- ②准教授(保育内容総論等)
- ③広島女学院大学とのご縁に感謝し、学生のみなさんを保育・教育職へ導けるよう尽力したいと思えます。

土谷 佳弘

- ①人間生活学部管理栄養学学科
- ②准教授(化学、生化学等)
- ③教育と研究に携わり、社会で

高1 森永 裕子

高2 國岡健太郎

高3 永松 正彰

生徒会顧問(中学校) 中原 克芳

生徒会顧問(高等学校) ○山崎 綾子

企画委員 ○宇津 剛

企画委員 濱岡由希子

法人 歴史資料館長 佐藤 茂樹

ゲインズ幼稚園 幼稚園長 高田 憲治

幼稚園主事 古重 歌織

活躍する管理栄養士の養成に尽力していきたいと思えます。

曾川 昇造

- ①人間生活学部幼児教育心理学科
- ②特任教授(初等算数教育法等)
- ③夢実現に向けて一歩一歩着実に歩まれている学生さんの一助になれることを楽しみたい。

岸本 亮子

- ①中学・高等学校
- ②常勤講師(国語)
- ③人間が長い歴史の中で語り続ける言葉を通して感じ考えながら一緒に豊かに学んでいきます。

横沢 政人

- ①ゲインズ幼稚園
- ②幼稚園教諭
- ③キリスト教精神と学院の理念の基、共に育ち合う保育を目指して、精一杯尽力したいと思います。



4月1日、新たな教職員の方々をお迎えしました。簡単ですが、みなさまのご紹介をさせていただきます。(順不同・敬称略)

と思います。

向井 美菜

①ゲインズ幼稚園

②幼稚園教諭

③子どもたちが意欲や自信を持てるよう支援し、私自身も共に成長していきたいと思えます。

大賀 美鈴

①ゲインズ幼稚園

②幼稚園教諭

③子ども一人ひとりの気持ちをしっかりと受け止めていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

本廣 賢吾

①法人・大学事務局

②事務局長(特任事務職員)

③広島女学院の理念の実現と発展に向けて、一生懸命頑張ります。宜しくお願ひ致します。

三村 麻田美

①大学庶務課兼学生課

②保健師(特任事務職員)

③利用しやすい雰囲気づくりに努め、心身共に健康な学生生活が送れるお手伝いをしたいと思えます。

坂橋 文絵

①大学学部事務室

②大学実験実習助手(常勤嘱託職員)

③学生にとって身近な存在になり、多方面から支えていけるよう頑張ります。宜しくお願ひ致します。

寄田 小百合

- ①中学・高等学校
- ②常勤講師(養護)
- ③みなさんの心身の健康を支え、成長を見守っていききたいと思えます。宜しくお願ひ致します。

Florence Smith

- ①中学・高等学校
- ②常勤講師(英語)
- ③Communication is the key to building communities.

退職者のいじば

大学教授 坂井 賢太郎

2002年度より、生活科学部生活科学科食物栄養専攻および管理栄養学科、人間生活学部管理栄養学科で15年間、お世話になりました。これまで、管理栄養士養成課程の教育に携わってまいりましたが、すばらしい学生との出会いに恵まれ、充実した日々を過ごすことができました。また、教職員の皆様には本当に助けていただき、心から感謝を申し上げます。広島女学院大学の一層のご発展を祈っています。ありがとうございます。

大学准教授 上村 沙織

広島女学院大学では8年間、先生方・職員の方々にひとかたならぬご指導・ご厚情を賜りました。また、学生の皆様の成長や保護者の皆様のご協力に支えられた8年間でもありました。豊かな自然に囲まれたキャンパス、折々の出会いや温かいお心遣いは忘れ得ない私の財産となりました。貴重な経験を通して、この8年間で張った、教育者・研究者としての根を大切に、今後も新天地で励んでまいります。

大学特任教授 鈴木 道子

私は広島女学院ゲーンズ幼稚園に定年迄34年間、大学に幼児教育心理学科が設立されて特任教授として10年間、合わせて44年間も女学院にお世話になりました。実際の子どもたちの素晴らしさ、又難しさを学生たちに伝える努力をしてまいりました。私自身、大学生活に戸惑うことも多々ありましたが、先生や職員の方々に助けていただきましたこと感謝いたします。愛する女学院がこれからも神さまに喜ばれる器として生き続けられますよう、祈ります。

最後にになりましたが、広島女学院のご発展をお祈りするとともにみなさまのご健康をお祈りしております。ありがとうございます。

大学実験実習助手 那須みちこ

管理栄養学科の実験実習助手として7年間お世話になりました。周りの先生方や職員の皆様、学生達にも恵まれ、とても充実した日々を過ごすことができました。仕事をしていく上でお手本としたい方々に出会えたことが何よりの財産です。今後とも厳しさの中に優しさをという気持ちをお忘れずに頑張っていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

幼稚園教諭 矢原 千紘

広島女学院大学卒業後、ゲーンズ幼稚園で三年間働かせていただきました。子ども達と驚きや感動、嬉しいことや悲しいこと全てを共に感じ過ごした毎日に数え切れない幸せをたくさんもらいました。つまずいたり悩んだりした時、子ども達のありのままの姿から答えに気づかされ、笑顔に何度も助けられました。

今まで出会ってきた全ての子ども達、保護者の皆様、先生方、そしてここで過ごした三年間はかけがえのない宝物になりました。心より感謝し、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

その他の退職者

2016年度は記載の方々の他、次の方が退職されました。
大学助教 Laura Kurotobi
中高教諭 橋本 浩子

大学図書館図書課 特任事務職員 田尾 真理子
21年間という長い間、図書館に勤めさせていただきました。

大学キャリア支援課事務職員 立畠 優紀
大学庶務課兼学生課事務職員 (保健師) 小橋 牧子

表彰

永年勤続者

- ◎30年勤続者 工藤 敬子
◎20年勤続者 下岡 里英 三木 幹子
小山 雅之 福岡 美香
高見 知伸 應本 真由美
森脇 正樹 久保田 哲司

理事会选择

- 次期副学長 桐木 建始
次期人間生活学部長 村上 和保
(2017.4.1~2018.3.31)
次期園長 高田 憲治
次期幼稚園主事 古重 歌織
(2017.4.1~2019.3.31)

採用

- 大和 満穂(大学キャリア支援課事務職員) 2017.1.1付
任用替え (任期付教員A↓専任教職員)
森保 尚美
大学准教授(人間生活学部) 熊田 亜矢子
大学准教授(人間生活学部) 加藤 美帆
大学准教授(人間生活学部) 関谷 弘毅
大学専任講師(国際教養学部) 戸田 慧
大学専任講師(国際教養学部) 伊藤 千尋
大学専任講師(国際教養学部) 磯部 祐実子
大学専任講師(国際教養学部) Ashley Hollenbeck
大学専任講師(国際教養学部) 野村 知未
大学専任講師(人間生活学部) (常勤嘱託教員↓専任教職員) 古川 由希子

教職員動静

- ◎12月1日~3月31日受付分 誕生
藤本 虎之助君
(藤本一菜大学総合学生支援センター学生課職員兼大学ボランティアセンター事務課職員)子息)
2016.12.25
為数 東吾君
(為数夏実中高事務部職員)子息)
2017.1.14
西嶋 郁子様
(西嶋佳弘理事)ご母堂)
2016.11.27
満井 晟様
(入江直子大学総合学生支援センター1教務課長兼学部事務室課長)ご尊父)
2016.12.29
市川 洋司様
(市川知美大学人間生活学部准教授)ご尊父)
2017.2.4
福田 宇市郎様
(植西浩一大学国際教養学部准教授)ご岳父)
2017.2.17

日誌抄

- 1.12(木) 経営会議
1.24(火) 理事会
1.26(木) 学院運営協議会
2.2(木) 経営会議
2.16(木) 事務協議会
2.23(木) 学院運営協議会
広島女学院人権問題委員会
公認会計士監査

昇任・昇格 ※()内は旧職名 2017.4.1付(順不同)

Table with 2 columns: Name and Position. Includes 田頭 紀和, 植西 浩一, 神野 正喜, 永野 晴康, 前田 美和子, Ashley Hollenbeck.



大学

University

大学卒業礼拝

3月14日(火)大学卒業礼拝がゲーンズチャペルで開催された。前奏「主よ人の望みの喜びよ」(J.S.バッハ)、讃美歌90番合唱、聖書朗読(コリントの信徒への手紙一)13章1-13節、祈祷、聖歌隊合唱に続き、日本基督教団 広島牛田教会 牧師の西嶋佳弘先生による説教が行われた。「愛が無ければ」という題で、お話された。「愛は忍耐強い、情け深い、相手の痛み、不安を理解し、相手に寄り添い、仕え、他者を尊敬する。一方、愛の対極は『妬み』である。人は其感し合ひ、認め合つて生きる。愛の一つ一つを心にとめ他者を活かす愛



を持つことで、自分を活かす愛となる。これから生きていく上で、ここで受けた愛を心の中心に置いて生きてほしい。」と語られた。
最後にゲーンズ先生の愛唱歌、讃美歌294番を合唱して終了した。
(宗教センター事務課 加納暢子)

大学院・大学学位記授与式

3月15日に2016年度大学院学位記授与式が執り行われ、言語文化研究科7名、人間生活学研究科4名に修士の学位が授与されました。
同日午後にはランパスホールにおいて大学の卒業証書・学位記授与式が執り行われ、国際教養学部国際教養学科120名、人間生活学部生活デザイン・建築学科61名、同管理栄養学科78名、同幼児教育心理学科94名、文学部幼児教育心理学科及び生活科学部生活デザイン・情報学科各1名の卒業が認められ、学士の学位が授与されました。

湊学長は式辞において、聖書フィリピの信徒への手紙第4章13節「私を強めてくださる方のお陰で、わたしはすべてが可能です。」をふまえ、どのような苦難を通ろうとも、本学で学んだ教養を大切に、聖書に立脚して形成された「生きる力・ぶれない個・私」を土台として「人間力のある女性の生涯」を全うしてほしいと力強いメッセージを贈られました。
式の終了後、盛大な拍手に送られて卒業生は新たな人生へと旅立ちました。
(副学長 桐木建始)

幼児教育心理学科 鈴木道子特任教授最終講義

1月21日、幼児教育心理学会秋季講演会にて、鈴木道子先生の最終講義が行われました。
鈴木先生は1971年ゲーンズ幼稚園に教諭として赴任、9年からは園長として34年の長きにわたりご勤務の後、広島聖公会学園栄光幼稚園、聖ニコラ幼稚園で園長を歴任され、キリスト教保育の発展に尽くしてこられました。



最終講義での鈴木道子先生

2007年の幼児教育心理学科設立と同時に、特任教授に就任、保育者養成

に力を注いでこられました。最終講義のテーマは「保育の難しさ、保育の楽しさ」子どもたちの心に寄り添う保育とは。講義の中では、広瀬ハコ先生、戸波和子先生、名倉啓太郎先生との出会いと先生方の教えが温かな思い出とともに語られ、「キリスト教の精神に基づいた、一人ひとりの子どもを大切に『保育』とは何かを熟考することができました。」

会場には在学生はもとより、卒業生や広島市内外の保育者がつめかけ、先生との別れを惜しみました。
(幼児教育心理学科 主任 中村勝美)

海外英語研修(アメリカ)

国際教養学科では2016年にアメリカ、イギリス、オランダ、インドネシア、ベトナムでフィールドワークを行いました。海外英語研修では8月から9月のおよそ1ヵ月に渡りアメリカ合衆国インディアナ州エヴァンスビル大学にて英語研修を行いました。



小学校での日本文化紹介

8人の参加者はそれぞれホストファミリーのお宅に滞在し、アメリカの文化を体感するとともに

もに、大学で南米や中東、中国、韓国など、さまざまな国からの留学生と一緒に英語の授業を受け、大いに刺激を受けることができました。
課外活動では現地の幼稚園や小学校に行き、日本の四季や習慣について英語でプレゼンテーションを行い、折り紙体験も行いました。研修を通して、英語で積極的にコミュニケーションを取ることに難しさと楽しさを知り、異なる文化との出会いや驚きをたくさん経験することができました。
(国際教養学科 専任講師 勝井慧)

受賞報告 (管理栄養学科・幼児教育心理学科)

管理栄養学科卒業生 木下美樹さんが、(一社)全国栄養士養成施設協会より、幼児教育心理学科卒業生 元久保朱音さんが、(一社)全国保育士養成協議会より、会長表彰を受賞されました。
卒業式前日に、関係の先生がご臨席のもと、湊学長より、表彰状が授与されました。

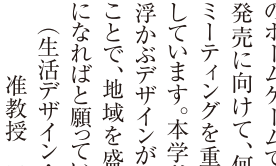
4年間、懸命に学業に取り組み、日々の努力の積み重ねが受賞に結びついたと思います。この達成感をさらなる飛躍に繋げられることを期待しています。
(管理栄養学科 主任 渡部佳美)

主任 渡部佳美
主任 中村勝美
幼児教育心理学科 主任 中村勝美

生活デザイン・建築学科 地域振興デザインプロジェクト報告

2016年4月より、生活デザイン・建築学科では産学連携の環として、広島のプロバスケットボールチームである広島ドラゴンフライズのグッズをデザインし、地域を盛り上げようという地域振興デザインプロジェクトが開始しました。グッズのデザイン

グッズ販売の実態調査や体験をしたり、業者を選定し交渉をしたりとプロジェクト内容は多岐にわたっています。今年4月のホームゲームでのコラボ商品発売に向けて、何度も何度もミーティングを重ね、意見交換が活発に行われ、実用化されることで、地域を盛り上げる一端になればと願っています。
(生活デザイン・建築学科 准教授 樋崎久美子)



グッズ販売調査及び体験の様子

ゲーンズ墓前礼拝

3月14日(火) 15時30分から比治山墓地にてゲーンズ墓前礼拝が行われ、卒業生の代表10名と教職員9名が参列した。讃美歌2編60番を合唱、チャレン澤村雅史先生によりコリントの信徒の手紙一3章6-9節の朗読、祈祷、感話があった。「ゲーンズ先生の想い」という題で、ゲーンズ先生と本学の歴史についてお話された。ゲーンズ先生の言葉と生涯から、「あなたがあなたであることに胸をはって生きてよい」「外側に触れたけど、内側にはまだ触れていない」「内側の完成は生のものである」ことを学び、夫々の与えられた道を、胸を張って進んでいくようにという教えを頂いた。
続けて、墓前に献花して終了となった。
(宗教センター事務課 加納暢子)



中学・高校

Junior high school / High school

卒業のつとば



今、卒業を目前に控えた私は、6年前この広島女学院に入学する

ことを決め期待と不安で胸がいっぱいだった私に、その選択は決して間違っていないと胸を張って言うことができませんでした。女学院で過ごした6年間は密度の濃いもので、毎日がとても楽しくあつという間に過ぎていきました。入学したての頃は眠たくなってしまうこともあった礼拝の時間も、今では今日の聖句はどこか今、今日の讃美歌は何かと楽しみにしてしまっほうど、いつのまにか自分の生活の一部になつていくことを感じます。礼拝の話を聞くたび自分の考え方の引き出しが増えているのを実感し、女学院での生活に欠かせないものなのだと思つようになりました。

さて、現在グローバル化が急速に進み、まさにこれから私たちが生きていく世界は、激動の時代を迎えようとしています。オックスフォード大学の調査によれば、人工知能によって今後10年、20年ほどで約47%の仕事が自動化されるとの予測が立っています。そんな中で人間がロボットに勝っているものとして、「人格や共感性」が挙げられます。SGH (スーパーグローバルハイスクール)である広島女学院では国際問題や人権問題、多文化共生に向けた学びなど、多くの学びの場がありましたが、私はその中でも平和領域での学びを通じて、「人格や共感性」を育ててもらうたと感じています。以前の

私は過去に起きた事実や平和の重要性についてどこか過去のこと、どこかひと事のように捉えていました。しかし女学院では自分の意見を主張するよう求められる機会が多いこと、聖書や礼拝の時間に触れた隣人愛の精神をもつて相手の立場に立つて物事を考えられるようになつたことから、平和の尊さを身に染みて感じ、同時にその実現の難しさも学びました。女学院での平和を学ぶ姿勢は自分自身の内面から湧き出る主体的なものでした。主体的な学びを通して私たちは、多様な歴史や価値観、他者の痛みを自分が向き合うべきものとして受け取るための、「器」のようなものを手に入れたように思います。その「器」を持つているからこそ、中3の長崎研修旅行や高2の沖縄研修旅行でも、そこでしか感じられない現地の方々の思いを受け取ることが出来ました。

私が女学院で得たものはそれだけではありません。私の女学院生活の中で最も忘れられないことは何と言つても6年間続けたソフトボール部での思い出です。中学生のころは人数も多く、仲間任せきりで主体性に欠けていたように思います。その中でソフトボールの楽しさに触れることができたこと、先輩との上下関係を学べたことが収穫だと思ひ、高校でもソフトボールを続けることを決意しました。高校生になつてからは部員数が激減したこと、出来なくなつてしまつた練習メニューもあつたり、今まで経験のないポジションを突然任せられたりと大変なことが増えました。しかし、自分の代わりはいないという自覚を持つようになり、緊張感と主体性を持つ練習できるよつになりました。また、

先輩が引退されたのち部長を任されてからは、みんながイメージするよつなチームをまとめ上げ引つ張つていくかつこい部長にはなれませんが、逆にチームのみんなに支えられていることを肌で感じるよつができました。同じ経験を共有するよつで大切な仲間とよつに喜びともよつに泣くことができたことは、人との繋がりをもつて感じる貴重な機会となりました。

何と言つても忘れられないのは引退試合です。プレッシャーに弱い私たちは初回から相手に8点もの大量得点を許し、いきなり窮地に立たされました。正直私はずいぶん悔しいと諦めかけましたが、キャッチャーをしてる副部長のよつも通りの明るく大きなかけ声を聞いてはつと我に帰る、部長として私が諦めるわけにはいかならと思ひ直すよつが出来ました。そのおかげか、チームは最終的に打線がよつながら、8点を取り返し、延長戦で勝ち越し、サヨナラ勝ちを決めました。その勢いそのままの試合も勝ち進み、県ベスト8という結果を残すことが出来ました。試合が終わつてからは、6年間続けた達成感と、今までの実の父のよつにソフト部を育ててくれた顧問の先生や、一緒に頑張つてきた同級生・後輩への感謝の気持ちから、涙が止まりませんでした。8点差を取り返すよつ、この奇跡はチームのメンバーがお互いに支え、支えられてるよつを自覚し、丸とよつたこととで生まれたのだと思ひます。この経験はこれからの人生の中で私の支えになると思ひ、何より自信を持つて自分の一生の宝だと思ひます。顧問、先輩、後輩、顧問の先生に出会えたよつを心から誇りに思ひます。

卒業する皆さん、皆さんはどのよつな6年間を過つてきましたか。ひたすら部活に励んだ人、クラブに

所属してなくても、校内外の皆さんのボランティア活動で活躍した人、数えきれないほどの本を読んだ人、この6年間で経験してきたこと、一人一人違うよつでしょう。そのような多種多様な「世界」の「出会い」が準備されているのが、女学院の良さであり伝統です。私たちは部活、PS、キリスト教強調週間などを通して、それぞれ自分独自の「器」を手に入れているはずですよ。女学院で培つた隣人愛の精神も、「器」を作るのに欠かせない材料のよつです。その「器」によつて私たちは多様な文化や価値観、歴史、そして他者の痛みを自分のこととして受け取ることが出来ます。これこそが私たちが築きあげてきた「人格や共感性」であり、これから大学生や社会人になつても、それぞれその経験に忠実に、私たちがこの「器」を大きくしたり、形を変化させたりするよつです。しかしその原型となる「器」は、ここ広島女学院で手に入れたものであり、このよつはきつと私たちの生きる軸になると信じています。

最後になりましたが、いつも味の味方として支えてくれた家族、勉強を教えてくれるだけでなく他愛ない会話に付き合つてくれた先生方、私たちが快適に学校生活を送れるよつにサポートしてくださつた事務、技術職員の方々、何も買わない日でもお喋りしに行く私を温かく迎えてくださった食堂や売店の皆様、お世話になつたよつの方々、卒業生を代表して心からお礼申し上げます。本当にありがとよつございました。私たちはこれから女学院での経験を糧にしてそれぞれ新しい道を進んでいきます。以上をもちまして卒業の言葉とさせていただきます。ありがとよつございました。

2017年3月1日
卒業生代表 下川歩

第2回SGH 研究発表会



今年度第2回目の研究発表会を2月16日に実施しました。北は福島、南は鹿児島と全国各地から約60名の先生方と関係者の皆様も参加されました。基調講演は今年も大谷大谷教授の荒瀬克己先生で、今回は生徒対象にもご講演頂きました。「堀川の奇跡」で有名な京都市立堀川高校の校長在職時の経験を踏まえながら「どのよつな生き方をするか」について、熱いメッセージを下さつて、激変する時代の中で「事実」に謙虚に向き合い、「希望」を持つて生きていくよつ大切さを改めて感じました。

午後からの研究会の講演テーマは「主体的、対話的で深い学びを支えるカリキュラム・マネジメント」でした。生徒の主体的学びを引き出すために、学校教育現場にどのよつな実践が必要であるか。全国から集まつた先生方も熱心に聞いておられました。

その後は生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促すために、本校が実践しているアクティブラーニング型授業を5教科において公開しました。各教科が工夫を凝らし、生徒

- 高校音楽部
3月26日(日) 14時
「Miss a Brevis」
「初心のうた」ほか
- ダンス・ミュージカル部
4月13日(木) 16時35分
「Rockabye」
「Wizard」ほか
- 中学演劇部
4月15日(土) 13時
「水平線の歩き方」作成井豊
- 中高吹奏楽部
4月16日(日) 14時
「驚の舞うところ」
「J・popメドレー」ほか
- 高校演劇部
4月22日(土) 13時
「きみがいた時間 ぼくのいく時間」作成井豊 隈部雅則
- 中高マンドリン部
4月23日(日) 13時半
組曲「ナボリの風景」ほか

「主体的な学び」をサポートする授業を計画しています。研究発表後の合評会では、さまざまな角度から活発な意見交換がなされ、成功裏に研究発表会を終えることが出来ました。SGH事業もこの春に4年目に突入します。Peace Studiesや研修旅行を改善しながら、日々の学びがより、深い学びへとつながるよつ努力を続けてゆきたいと思ひます。
(グローバル教育推進部 高見知伸)

幼稚園

Kindergarten

たんぽぽ広場

広島女学院ゲーンズ幼稚園では、就園前の親子の集いの場として、「たんぽぽ広場」を開設しています。「広場」というと常設型で、専用スタッフがいて、親子の遊びと交流を見守りつつ、育児相談コーナーがあるイメージですが、本園の「広場」は、登録制で、月に1度参加となっております。開催期間は5〜7月、9月、つまり、申込みしていただいて、親子で4回ほど幼稚園で遊んでいただくという内容です。

専用ルームや専用スタッフが整っていれば、もっと量的に拡大可能なのですが、幼稚園ホール(遊戯室兼預かり保育室)を会場としているため、月に5グループ開催が精いっぱい状況です。その分、質的に充実感のある遊び環境やプログラムを準備しているつもりです。「楽しかった!」という声と共に「もっと遊びたいのに!」という声も耳にします。毎年、1グループ20組×5グループ、およそ100組の親子に登録していただいています。質と量の充実が今後の課題だと感じています。今後、そのための基盤整備ができることを願っています。

(園長 高田憲治)

LOVE & PEACE
コンサート

2月16日、第22回目のLOVE&PEACEコンサートを開催いたしました。第一部は子どもたちによる歌のステージでした。これまで「平和ってなあに?」と子どもたちに問いかけ、一緒に考えながら過ごしてきました。「友だちに優しくする」「ものを大切に」「喧嘩をしても仲直りする」「世界中の人々が笑顔で過ごせたらいいな」という子どもたちのたくさんの声が溢れ、コンサートでは一人ひとりが平和への願いと祈りを込めて歌いました。笑顔や歌声からきくと会場の方々にも子どもたちの思いが伝わったのではないかと思います。第2部は広島を中心に活躍されているLMFさんをゲストにお招きして、素敵な歌声とピアノ・ヴァイオリン・チェロが奏でる音色に魅了されるステージとなりました。「音楽を通して会場の皆の心が一つとなり平和を願う時を共に過ごすことができました。」

(幼稚園 矢原千紘)



心あたたまるゲスト LMFさんによるステージ



みんなの平和への祈りが世界中へ届きますように

イースター

3月10日、およそひと月も早く幼稚園ではイースターをお祝いしました。年間を通してイエス様のお話をきき、イエス様のことが大好きになった子ども達。その復活の出来事を通して改めて神様のあたたかく大きな愛を感じる時を持つことができました。

復活の象徴であるイースターエッグを、年中、年長組では探すことを楽しみ、また、年少組では担任から一人ひとりに手渡され、イースターの喜びを分かち合うことができました。

(幼稚園 西保菜里香)



「可愛いたまご、嬉しいね」

お茶会

数年前から「おもてなし」という言葉を、よく耳にします。この言葉の意味を体験する機会を、牛田早稲田在住の山田和子さんが子どもたちに与えてくださいました。お作法の手順を丁寧に見せてもらい、お抹茶を口にしたら時の子どもたちから「おいしい」「おかわりしたいね」などの感想があふれました。しかし、苦手な子どもたちもいます。どんな子どもたちも全て受け止めて下さる地域の方々へ感謝すると共に、文化交流を通して日頃経験することができない事を学ばせていただきました。

(幼稚園 木村和美)



「お抹茶おいしいね。」

第55回卒園礼拝

3月16日、春の日差しが美しい中、感謝を持って卒園礼拝を守らせていただきました。神様のお守りの中で豊かに成長した72名の卒園生が園を巣立ち、喜びあふれる日となりました。

園での様々な出会いや出来事がこれらの歩みの糧となりますようお祈りしています。

(幼稚園 久保木裕子)



事務局

Secretary

会議報告

第149回理事会

2017年1月24日。
選任事項として、今年度末で任期満了を迎える高田憲治園長の再任を決定。任期は2017年4月1日から2年間。

審議事項として、2016年12月末日付で退職した常勤嘱託職員に対し、規程に基づく慰労金の支給を決定。

報告事項として、各校区からの学事報告の後、中高・大学の教職員5名を2017年1月1日及び4月1日付で採用すること、財務シミュレーション、組合交渉の状況、訴訟対応等について説明があった。

第150回理事会

2017年2月28日。
選任事項として、今年度末で任期満了を迎える幼稚園古重歌織主事の再任を決定。任期は2017年4月1日から2年間。

次に、2018年度からの大学人事として、副学長を村上和保人間生活学部長、人文学部長を渡邊ゆかり教授、人間生活学部長を山下京子教授に決定。任期は、いずれも2018年4月1日から2年間。

次に、大北法人・大学事務局長の辞任に伴う後任を、広島県監査委員事務局局長の本廣賢吾氏に決定。任期は2017年4月1日から7年間。

審議事項として、大学院言語文化研究科博士後期課程を

監査状況報告、組合交渉結果等についての報告があった。

寄附

3月31日受付分(順不同・敬称略)
広島女学院のために
今石 牧子 10,000円

片柳寛記念基金として
長西 貞美 1,000,000円

広島女学院大学のために
柏本 和子 100,000円

生活デザイン建築学科のために
2016年度生活デザイン・建築学科
卒業生一同 30,000円

管理栄養学科のために
2016年度管理栄養学科
卒業生一同 50,000円

ボランティア活動のために
谷口 泉、渡邊 愛梨、
内田 春香、坂井 あゆみ、
宇根 治、澤村 雅史(連名)
20,000円

卒園記念として
広島女学院ゲーンズ幼稚園
2016年度卒園生一同
198,000円

みぎわプロジェクト
広島女学院ゲーンズ幼稚園みぎわ会
200,000円

創立130周年
緞帳修繕のために
広島女学院中学校高等学校 PTA
2,500,000円

寺本 道生 30,000円
甘川 加緒理 今井 妙
高梨 弘 中野 ひかり
那須 泰 畑野 喜信
福岡 美香 森永 裕子

尾首 涼子 6,000円
為数 夏美 10,000円
各 20,000円

森脇 正樹 山縣 泉
渡辺 信一 吉田 絵理子
11,200円

増原 康人 10,000円
広島キリスト集会 10,000円

歴史資料館だより (28)

2016年3月から2017年2月まで1年間の来館者数は統計表に示す通りである。昨年に比べ、281名増加している。学生の来館者数の増加に依る。自校教育の一貫として、「初年次セミナー」の時間を用いて、歴史資料館の見学が5・6月にあった。

今年もバルチコフ先生のヴァイオリンの貸し出しがあり、四月に米子市公会堂で、「時空をこえた被爆ヴァイオリン」として、コンサートと特別講演「被爆ヴァイオリンの軌跡」(講師 西原真理子)が催された。加えて、12月15・16日に長門市で日露首脳会談が開催されたことに関連して、戦前広島で生活していたロシア人がマスコミで取り上げられ、バルチコフ先生のこと、本学女子学生に人気のあったロシア人パン職人のことが紹介された。

奇蹟のようであるが、砂本貞吉先生の姪御さん、兄玉弥三郎先生御夫妻の子孫のご家族、三世代三人の女性の訪問があった。8月6日の本学平和祈念式に出席され、砂本先生のレリーフを訪ねられた。後日、歴史資料館を来館され、懐かしい資料に目を通された。中学生のお孫さん

の、ルーツを知りたいということが動機であった。創立130年史が年度内に完成できなかったことを申し訳なく思う。

歴史資料館来館者統計表 (2016.3.1~2017.2.28)

Table with 6 columns: 月, 学生・生徒, 教職員, 卒業生, 一般, 計. Rows include monthly data and a total row.

福田道宏 ノートPC一式

渡部佳美 3Dスキャナー一式

大宮健史 温度計測器一式

池端次郎 「Mark Twain and Europe: [cloth]」初版

「Histoire et dictionnaire du temps des lumières」他1冊

広島修道大学 「Contemporary works in economic sciences」



同窓会からのお知らせ

〈広島女学院大学エンパワーメントセンター・同窓会 共催〉

聖書研究会

講師・湊 晶子 院長・学長

◎聖書は「生きる希望」について何と語っているでしょう～創世記から黙示録まで～

- 日時・第一回 6月24日(土) 13:30～15:00
- 第二回 7月29日(土) 13:30～15:00
- 第三回 10月14日(土) 13:30～15:00
- 第四回 11月25日(土) 13:30～15:00
- 第五回 2018年2月24日(土) 13:30～15:00

場所・広島女学院大学 人文館303号室

広島女学院平和祈念式

日時・2017年8月6日(日)10:00～

場所・広島女学院中学高等学校 ゲーンズホール

小さな祈りの影絵展

日時・2017年8月5日(土)6日(日)17:00～22:00

場所・元安橋の袂

◎影絵の製作にアイデアを提供して下さる方を募っています。

バイブルクラス〈聖書を学ぶ会〉

日時・毎月第3木曜日 13:30～15:30

場所・同窓会館

内容・「ルカによる福音書」を中心にした学びと交わり

講師・小田部 三恵子 先生

お問い合わせ

同窓会事務局 TEL・FAX 082-221-1059

創立130周年記念募金寄附者ご芳名

●2016年12月27日～2017年3月31日受付分(順不同・敬称略)

皆様のご理解とご協力に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。ご支援に込めるべく教職員一同一丸となって努力してまいります。

学校法人広島女学院理事長 中川日出男

1,000,000円

瀬戸山幸枝

500,000円

(匿名1名)

300,000円

広島女学院同窓会 広島地区

200,000円

洲浜英子

100,000円

広島女学院同窓会 関東ブロック

尾花麗子 鈴木道子

塚本英子

藤本黎時

50,000円

広島女学院高校11年生

佐藤ホーム一同

大成雅子

籠崎幸子

神崎信子

坂下恵

谷川正芳

中村紀子

村上郁子

(匿名1名)

34,165円

広島女学院専門学校

保健科2期生

30,000円

日本キリスト教団 広島教会

広島女学院同窓会 賀茂地区

折本 武夫

貫名 緑

田部 和代

八幡 和子

(匿名3名)

20,000円

辻学・祐子(連名)

惠美 純子 日浦 美智江

深山 嘉代子 藤井 昭

(匿名4名)

15,000円

宮崎 夏子 山田 直美

(匿名1名)

10,000円

広島女学院同窓会 県北地区会

天川 弥生 新井 恵子

有田 澄子 井岡 由美子

石崎 律子 泉田 豊美

市原 茂子 伊藤 恵子

今田 千津子 今村 夏世

岩本 康伸 植田 富美子

大江 裕子 大儀 道恵

岡田 眞由美 小川 清

小川 琴 梶川 樹子

梶山 照子 堅田 雅子

加藤 裕江 角田 錦

神安 泉 河原 都

河本 薫 久保 博美

久保田 美枝 光田 昌子

小島 美奈子 駒澤 暉子

斎藤 弘子 坂内 登美子

栄佳代 坂本 博子

佐藤 洋子 佐藤 玲子

實升 雅子 下原 暁重

白井 奈緒美 進藤 典子

新保 とし子 住谷 克彦

造賀 寿則 輪田 敬子

高井 浩子 高瀬 勢都子

高橋 千枝 高橋 知子

高本 頼子 田窪 郁子

武田 信治 田妻 紀子

田中 幸恵

土井 悠子

中田 千艸

中野 洋二

中山 厚子

仁井 弘子

西山 朋子

野村 絹恵

野村 妙子

平原 幸枝

福永 泰子

星野 純子

柘谷 幸江

松尾 泰夫

見口 由美子

三谷 信子

三善 純代

村瀬 忠之

社田 三津子

山根 和子

吉田 厚子

(匿名18名)

5,000円

同窓会チュエーリップ・クラブ

赤間 元子

今田 苑子

佐々井 正男

末石 克芳

戸山 順水

福原 陽子

宮原 玲子

(匿名6名)

3,000円

(匿名1名)

1,000円

菅江 玲子

濱田 明美

創立130周年

記念募金事業Aとして

50,000円

山崎 麻由美

10,000円

佐々木 昌子

宮原 栄治

(匿名1名)

豊嶋 正子

創立130周年

記念募金事業Bとして

30,000円

オキデザイン

10,000円

木村 真知子

西千恵

(匿名2名)

5,000円

山田 絵美佳

山田 典子

※募金事業

A 奨学金制度の充実

B 教育研究施設・設備の充実

編集後記

2016年は広島東洋カープ25年ぶりのセ・リーグ優勝に大感動。2017年にはどんな感動がやってくるのだろうかワクワクします。桜の花咲く春は、「期待」と「予感」に彩られる季節なのでしょう。

(大学 西口理恵子)